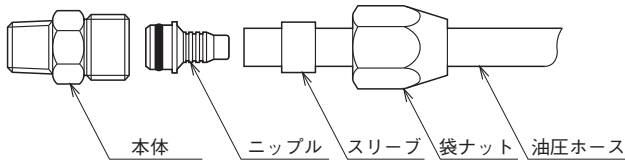


油圧ホース／油圧ホース金具の装着方法

1. 油圧ホースを鋭利な刃物で直角に切断してください。(斜めに切断すると、漏れの原因となります。)
2. ①袋ナット→②スリーブの順で油圧ホースに挿入してください。



3. ●油圧ホースにニップルを挿入する際は、ニップル先端に作動油を塗布してください。  
●ニップルを挿入する時、ニップル端面を傷付けないようにナイロンハンマーなどで叩き込んでください。  
●油圧ホースは、※図1のようにニップルのテーパ部までしっかりと挿入してください。反対に、テーパ部をこえて挿入しますと、袋ナットで締付けた後、外れなくなる場合がありますのでご注意ください。  
●挿入の際には別売のホールディングダイをご使用ください。

ホールディングダイ

50HOL



55HOL



※適合ホース：T1000-04/06

※適合ホース：T1000-08

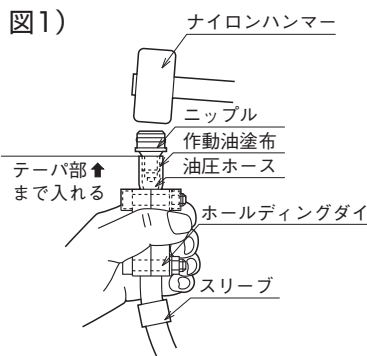
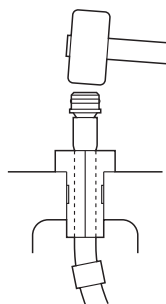


図2) 万力等で固定する場合



4. ニップル部を金具本体を挿入する際、Oリングを傷付けないように注意してください。

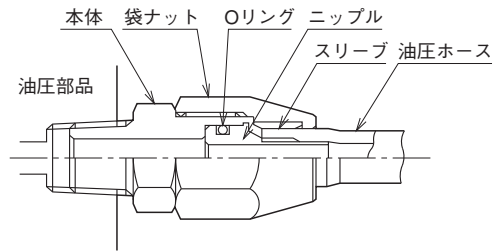
Oリングサイズ

油圧ホースサイズ	Oリングサイズ
T1000-04	JIS B2401 P9-1A
T1000-06	JIS B2401 P11.2-1A
T1000-08	JIS B2401 P15-1A

5. 金具本体のテーパねじ部にシールテープを巻き付け油圧部品に取付けてください。

6. 金具本体六角部と、袋ナット六角部にスパナを使用し、規定トルクで締付けてください。

油圧ホース金具サイズ	袋ナット規定トルクN・m
TS4/TL4/TV4/TT4/TE4	5
TS6/TL6/TV6/TT6/TE6	10
TS8/TE8	15



なお、規定トルクまで締付けている間にホースがねじれた時には、袋ナットをゆるめて油圧ホースのねじれを元に戻した後、再度規定トルクまで締付けてください。

使用上の注意点

- 配管部はフラッシングして、ゴミ・異物を取り除いてください。
- ねじれた油圧ホースに高圧(振動・衝撃)がかかると、金具の脱離など不具合の原因となります。
- 油圧ホースは、最小曲げ半径(カタログ仕様参照)以上でご使用ください。
- 油圧ホースと他の物体を接触させると、油圧ホース損傷の原因となりますので接触させないでください。

保管

- 使用されない油圧ホースは、キャップ等を使用し内部にゴミ等の異物が入らないようにして保管してください。
- 保管場所は直射日光、高温多湿、薬品等の影響を受けないようにしてください。
- 油圧ホースの長期保管後の使用は、避けてください。(納入後2年を目安としてください。)
- 油圧ホース金具を長期保管後、使用される場合は、Oリングの交換を推奨します。

廃棄

- 油圧ホースと油圧ホース金具を分解し、材料別に分別して廃棄してください。
- 樹脂、ゴム系は、不燃物として廃棄してください。